

# 稲・大豆作情報 (NO. 4)

## 1. 水稲作況情報田の生育概況(7月23日現在)

品 種 場 所	移植日 栽植株数	年 次	現在の生育状況				概況
			草 丈 c m	茎 数 本/m <sup>2</sup>	主稈 出葉数	葉色	
夢しずく 佐賀市本庄町	6/15 18.1株/m <sup>2</sup>	本 年	56.7	376	10.5	38.8	7月上旬の冠水による生育停滞は回復傾向にある。草丈は全品種とも平年より1割程度低いが、有効茎数は確保できている。
		平 年	61.6	370	10.3	40.3	
		平年比	(92)	(101)	(+0.2)		
さがびより 小城市芦刈町	6/20 18.1株/m <sup>2</sup>	本 年	51.4	391	10.2	38.8	
		平 年	58.0	516	10.9	41.5	
		平年比	(89)	(76)	(-0.6)		
ヒヨクモチ 小城市牛津町	6/27 18.1株/m <sup>2</sup>	本 年	30.4	450	9.9	45.1	
		平 年	36.3	451	10.0	42.2	
		平年比	(84)	(100)	(-0.1)		

注1) 各品種 前作：麦、前前作：水稲。

注2) 施肥及び病虫害防除は地区基準に準ずる。

## 2. 水稲管理～今後も高温が続きます！～

今年、特に高温・乾燥で経過しているため、中干しの程度に注意し、中干し終了後は間断灌水を行う。

### 夢しずく

・これから幼穂形成期を迎えるため、中干しを終了する。中干し終了後は、一度に水をためると下

葉枯れ等が助長されるため、水は一度にため込まず、軽く田面を走らせる程度とし、断灌水とする。

・穂肥施用時は湛水し、その後の間断灌水では、地固めと根に空気を送るため落水期間を長めにとる。

・幼穂形成期（穂肥施用時）～穂ばらみ期は要水量が高い時期であるので水が切れぬよう注意する。

### ヒノヒカリ、さがびより、ヒヨクモチ

・有効茎数が確保できているので、中干しを行う。中干しは、軽い亀裂が入り足跡がわずかにつく程度とする。1週間程度実施した圃場では、中干しを終了する。

品 種	目標 穂数 本/m <sup>2</sup>	有効茎数（中干し時期）	
		50 株/坪 (15.2 本/m <sup>2</sup> )	60 株/坪 (18.2 本/m <sup>2</sup> )
さがびより	370	25 本/株	21 本/株
ヒノヒカリ			
ヒヨクモチ	440	29 本/株	24 本/株

## 3. 大豆管理 ～生育を確保するため、時期に応じた管理をしましょう～

### ○播種

播種作業は、ほとんどの圃場で終了している。これから播種を行う圃場は、右表を参考にする。

栽植本数 ㎡あたり	栽植様式 条間×株間×1 株本数	播種量 (kg/10a)	施肥
18 本	75 × 15 × 2	5.3	BB480 を 40kg/10a (生育量確保のため行う)
20 本	3 条播き 20 × 2	6.0	

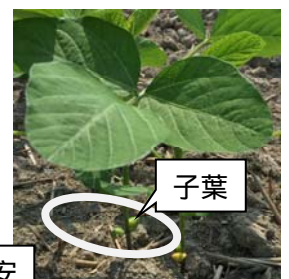
### ○培土

・7月上旬に播種した大豆は、雑草防除や生育確保のため、1回目の培土を実施する。

### ○実施時期の目安

1回目：本葉2～3枚の頃、子葉が隠れる程度におこなう。

2回目：本葉4～5枚時に、初生葉（子葉の上の葉）まで隠れるようにおこなう。



1回目の培土時期の目安

### 30年産水稻生育期間気象グラフ（アメダス：佐賀）

佐城農業改良普及センター

